

| | | | |
|--------------|--|----------|-----------|
| 授業コード | 2121391nh1 | 科目ナンバリング | BRL1D04S4 |
| 授業名 | 多文化コミュニケーションB／教養ワークショップB | | |
| 英文名 | Cross-Cultural Communication B / Liberal Arts and Cultural Studies B | | |
| 単位数 | 2.0単位 | | |
| 開講年度・学期 | 2024年度後期 | 曜日・時限 | 火曜2限 |
| 実施教室 | | | |
| 授業形態 | 演習 | | |
| メディア科目 | | | |
| オープン科目 | | | |
| 学位授与方針（DP） | 理工学部理工学科DP4 | | |
| 担当教員(先頭者が担当) | 中島 浩貴 | | |

| | |
|---------------|--|
| 目的概要 | この授業では、前期に引き続き、ドイツ語の最初歩を学びつつ、世界をさまざまなプリズムで見る材料としてドイツにも親しんでもらいます。後期から履修する学生も多いと思われるので、ドイツ語は最初歩のABCから確認しつつ、社会や文化をさらに広く理解し、多文化とのコミュニケーションを図ります。ヨーロッパやドイツの政治制度や教育、歴史といった知識も知ってもらいます。映画やドキュメンタリー、テキストや調べ学習（アクティブラーニング）などを使って、わかりやすく知的関心興味の幅を広げることが目的です。 |
| 達成目標 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 学生がドイツとドイツ語に親しむことができる。 2. 学生が基本的な単語や文法、表現を増やすことができる。 3. 学生がドイツ語圏の世界への理解を深めることができる。 |
| 関連科目 | 多文化コミュニケーションA／教養ワークショップA、欧米文化研究、戦争と平和の歴史、歴史学 |
| 履修条件 | とくになし。 |
| 教科書名 | 高橋亮介・川名真矢『新・アプライゼ 伝え合うドイツ語』朝日出版社、2023年。 |
| 参考書名 | |
| 評価方法 | 授業内課題遂行などの平常点50%、期末レポート50% |
| 自由記載欄 | |
| アクティブラーニングの実施 | グループないし個人での調べ学習を行う。 |
| ICTの活用 | DVD、youtube、インターネットを使用する。 |
| 実践的教育科目 | |

| | |
|----------|---|
| テーマ・学習内容 | |
| 第1回 | 講義の説明、受講者の学習状況の確認 【事前学習】教科書の内容を事前に調べておく。(100分) 【事後学習】講義で学んだ内容、単語を確認しておく。(100分) |
| 第2回 | 人称代名詞、動詞、名詞の性と複数形 【事前学習】教科書の内容を事前に調べておく。(100分) 【事後学習】講義で学んだ内容、単語を確認しておく。(100分) |
| 第3回 | 名詞、代名詞の格変化、冠詞類、否定形、命令形 【事前学習】教科書の内容を事前に調べておく。(100分) 【事後学習】講義で学んだ内容、単語を確認しておく。(100分) |
| 第4回 | 前置詞、接続詞、語法の助動詞、分離動詞 【事前学習】教科書の内容を事前に調べておく。(100分) 【事後学習】講義で学んだ内容、単語を確認しておく。(100分) |
| 第5回 | 動詞の3基本形、過去の表し方 【事前学習】教科書の内容を事前に調べておく。(100分) 【事後学習】講義で学んだ内容、単語を確認しておく。(100分) |
| 第6回 | 形容詞の格変化と比較変化（1）、ドイツの祝日、ライフスタイル 【事前学習】教科書の内容を事前に調べておく。(100分) 【事後学習】講義で学んだ内容、単語を確認しておく。(100分) |
| 第7回 | 形容詞の格変化と比較変化（2） 【事前学習】教科書の内容を事前に調べておく。(100分) 【事後学習】講義で学んだ内容、単語を確認しておく。(100分) |
| 第8回 | Zu不定詞、分詞、ドイツの政治制度 【事前学習】教科書の内容を事前に調べておく。(100分) 【事後学習】講義で学んだ内容、単語を確認しておく。(100分) |
| 第9回 | 再帰表現、関係代名詞 【事前学習】教科書の内容を事前に調べておく。(100分) 【事後学習】講義で学んだ内容、単語を確認しておく。(100分) |
| 第10回 | 再帰表現、関係代名詞（2）、ドイツの歴史 【事前学習】教科書の内容を事前に調べておく。(100分) 【事後学習】講義で学んだ内容、単語を確認しておく。(100分) |
| 第11回 | 受動態（1） 【事前学習】教科書の内容を事前に調べておく。(100分) 【事後学習】講義で学んだ内容、単語を確認しておく。(100分) |
| 第12回 | 受動態（2）、ヨーロッパのなかのドイツ 【事前学習】教科書の内容を事前に調べておく。(100分) 【事後学習】講義で学んだ内容、単語を確認しておく。(100分) |
| 第13回 | 接続法 【事前学習】教科書の内容を事前に調べておく。(100分) 【事後学習】講義で学んだ内容、単語を確認しておく。(100分) |

| | |
|------------------|---|
| 第14回 | 講義のまとめ、レポート提出 【事前学習】教科書の内容を事前に調べておく。(100分) 【事後学習】講義で学んだ内容、単語を確認しておく。(100分) |
| 質問への対応（オフィスアワー等） | 1444研究室（中島浩貴研究室）で受け付けます。オフィスアワーは金曜17:10-18:00、講義や会議がある場合がありますので、事前に連絡をお願いします。 |
| E-Mail address | hirokinakajima@mail.dendai.ac.jp |
| 備考 | 履修者上限が30名となっており、初回講義で抽選を行います。また、授業の状況により進度を調整する場合があります。ドイツ語の初修学生が対象です。授業に積極的に参加する学生を高く評価します。 |
| J A B E E | RG学系JABEEプログラムの履修生は、アセスメント・ポートフォリオで、「学習・教育到達目標」を参照の上、当該授業科目と「学習・教育到達目標」との関係を「カリキュラムマップ」で確認すること。 なお「学習・教育到達目標」の達成度については、「JABEEプログラム 学習の手引」内の「達成度の評価方法・評価基準」を参照して確認すること。 |

| | |
|--------------|--|
| 学期末試験<事務部記入> | |
| 試験方法 | |
| 試験実施日時 | |
| 参照可否 | |
| 着席方法 | |
| レポート提出先 | |
| レポート提出期限日時 | |
| 備考 | |